

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育心理学 (Educational Psychology)		
ナンバリングコード	K10103	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001401	クラス名	-
担当教員名	本田 和也		
履修上の注意、履修条件	授業には毎回出席することを原則とする。また、教員免許を取得するのに相応しく、授業には積極的・主体的に臨むものとする。座席指定をしますが、見え方や聞こえ方などによる変更希望はいつでも受け付ける。 授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁である。また、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をするなど、「報・連・相」を身に付ける。		
教科書	使用しない。その都度プリントを配布する。		
参考文献及び指定図書	櫻井茂男監修(2021)「【改訂版】実践につながる教育心理学」北樹出版		
関連科目	心理学、発達心理学、青年心理学、その他心理系科目。教育相談、生徒指導、その他教職課程科目。		

○基本情報			
授業の目的	本講義では、学校現場に活かすことができる教育心理学(発達心理学含む)の知識の習得と、それを踏まえた思考力・判断力等を養うことを目的とする。そのため、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解し、総合的・分析的に考察する力を身につける。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から青年期の心身の発達に関する代表的理論を踏まえ、各段階における発達(運動面、言語面、認知面、社会性等)について、その具体的内容を学ぶ。 ・授業の形態や構造、教育評価と指導の関係、学習集団づくりなど、発達の特徴と関連づけながら教師の働きかけと子どもへの影響等を踏まえながら、教師の指導性について考察していく。 ・今日的な学校課題について、その現状と心理学的支援について深めていく。 		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	特別支援学校や小学校等での教員経験を活かし、具体例を問題提起しつつ、教員に必要な専門的知識や実践的指導力を身につけさせたい。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	幼児児童生徒の発達や心理、及び学校現場の諸課題に関心をもち、各授業内容及び課題に主体的に取り組もうとする意欲や態度を修得している。			5点
【知識・理解】	幼児児童生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を修得している。	40点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	グループディスカッションやグループ活動等に主体的に参加することができる。レポート等において適切な文章表現ができる。			5点
【思考・判断・創造】	学校現場及び児童生徒をめぐる発達や心理、学習に関わる諸課題に対して、総合的・分析的にさまざまな観点から考察することができる。	40点	5点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を理解しようとする姿やグループワークへの積極的に取り組む姿を、2段階で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> A 十分に理解しようとしたり、取り組もうとしたりしている。 B 十分には理解しようとしたり、取り組もうとしたりしていない。 ・授業の最後に、「ミニ確認テスト」を実施し、本時の理解のレベルを2段階で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> A 十分に理解できている。 B 十分には理解できていない。 ・試験において、十分に理解できたかを80点満点で評価する。 	

○その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の終わりには、「ミニ確認テスト」を行う。 	

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	教育心理学 (Educational Psychology) 本田 和也	授業コード	K001401
学修内容				
1. 教育心理学とは何か ・教育心理学とは何かについて学ぶ。 ・教育心理学の研究法について理解する。				
予習	教育心理学について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
2. 発達とは何か ・発達の基本的法則について理解する。 ・ピアジェの発達理論について理解する。				
予習	発達の基本法則について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
3. 認知の発達について ・ピアジェの理論を通して、各発達段階について理解する。				
予習	ピアジェの理論について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
4. 動機づけ① ・外発的動機付け、内発的動機付けについて理解する。				
予習	外発的動機付け、内発的動機付けについて、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
5. 動機づけ② ・自己効力感、学習性無力感について理解する。				
予習	自己効力感、学習性無力感について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
6. 学習理論① ・古典的条件付けや道具的条件付けについて理解する。				
予習	古典的条件付け、道具的条件付けについて、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
7. 学習理論② ・観察学習や模倣学習について理解する。				
予習	観察学習、模倣学習について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
8. 記憶 ・記憶とは何かを理解する。 ・効果的な覚え方について理解する。				
予習	記憶について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	教育心理学 (Educational Psychology) 本田 和也	授業コード	K001401
学修内容				
9. 学習指導 ・学習とは何かを理解する。 ・効果的な学習指導法について理解する。				
予習	学習について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
10. 教育評価 ・教育評価は何のために行うのかを理解する。 ・教育評価には様々なかたちがあることを理解する。				
予習	教育評価について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
11. パーソナリティ① ・自己とは何かを理解する。 ・パーソナリティとは何かを理解する。				
予習	パーソナリティについて、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
12. パーソナリティ② ・様々な検査法を通してパーソナリティを理解する。				
予習	パーソナリティを理解する様々な検査について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
13. 人間関係と社会性 ・愛着とは何かを理解する。 ・現在の愛着の問題、愛着障害を理解する。				
予習	愛着について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
14. 学級集団 ・学級とは何かを理解する。 ・学級における教師と子どもとの関係について理解する。 ・学級における仲間関係について理解する。				
予習	学級について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
15. 学校不適応 ・適応とは何かを理解する。 ・不適応のメカニズムを理解する。 ・学校における不適応について理解する。				
予習	学校不適応について、自分なりに調べておく。			約2時間
復習	配布したプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
16. 期末試験				
予習	これまでに配布した全てのプリントを参考に、学んだことを整理する。			約2時間
復習	ありません。			約2時間